

小学校 地域との連携を生かした事例

地域の人々とふれ合い、豊かな心を育てる

○地域の人たちとふれ合うことを通して、いろいろな人たちに支えられ、温かく見守ってもらっていることに気づき、感謝する心や思いやりの心をはぐくみます。

地域の人々とふれ合う体験活動

干し柿作り (学校行事)

・地域の方からいただいた柿を使って、全校児童が協力して干し柿作りに取り組む。一人十個の柿をむき、地域からもらった竹を使って教師が作った串にさし、天日干しにして仕上げる。



6年生が柿採りをする。

おいしそうだな。みんなの分も採ろう。柿採りは、楽しいな。

おねえちゃん、じょうずね。こんなふうにむくのかな。



異学年でペアになり、仲よく皮むきをする。

さまざまな体験を通して感じてきた感謝の思いをふりかえる。

安全の日

・消防署の人に来ていただき、安全について考える。



消防車の放水を見る全校児童

ふれあいの日

・家庭や地域の人たちとともに文具・花・菓子等の販売などを行うバザーを計画し、広く地域の人々とふれ合う場とする。



保護者が大活躍のゲームコーナー

お母さんたちの手作りのスリッパもぐらたたきゲームは、とってもおもしろいよ！

道徳の時間に考えたことを実践できる場とする。

なかよし会

・家庭や地域の人たちと連携して、土曜日等を利用して定期的に地域の行事へ参加する機会をつくる。



校区の史跡散策ハイキング



とんど



しめ縄作り

おじさん、ありがとうございます。ぼくのしめ縄、うまくてきました。お正月に飾ります。

すごい炎だなあ。高く燃え上がったよ。焼いもが楽しみだ。

わたしの家の近くにこんな神社があるのを知らなかった。初めて聞くことがいっぱい楽しいな。また、町探検しよう。

○地域での体験活動の中で感じたり考えたりしたことを道徳の時間の話し合いに生かし、感謝する心などの道徳的価値について、自分とのかかわりで考えられるようにします。

道徳の時間

主題名 ささえられているわたし (低2-(4))

ねらい

家族をはじめとして、多くの人たちの世話になっていることに気づき、感謝しようとする心情を育てる。

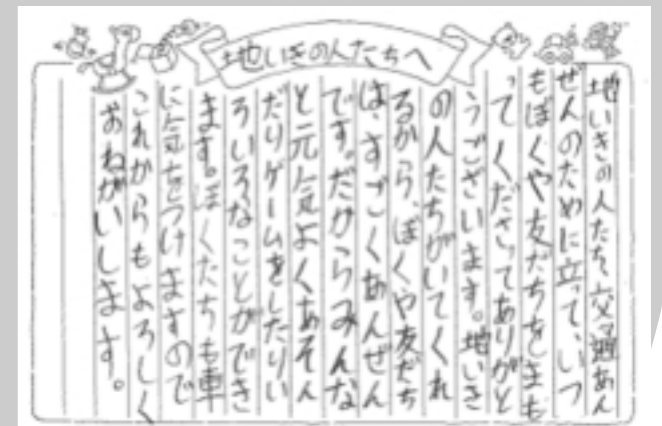
学習展開

- 資料をもとに話し合い、自分たちを世話してくれる人たちの労苦や愛情に気づき、感謝しようとする心情を育てる。
- これまでに「ありがとう」と思った経験について話し合う。
- お世話になった人たちに、お礼の手紙を書く。

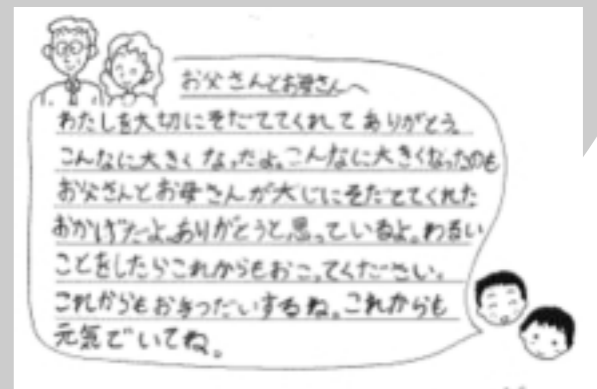
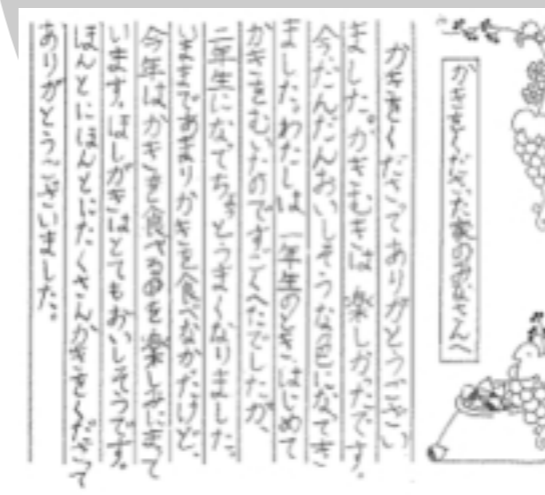
「気を付けや、いつてらっしゃい。」と声をかけてもらってうれいす。いつもわたしたちを守ってくださってありがとう。1じやごま。



やさしく教えてもらったので、うましくしめ縄を作ることができました。とても楽しかったです。ぼくたちのために、いろいろな準備をしてくださってありがとうございました。



子どもが書いた手紙



小学校 地域との連携を生かした事例

地域の中でもっと人々とのふれ合いの機会を

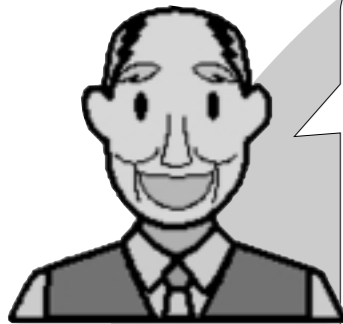
○地域に子どもたちの集う場をつくり、人々の温かいつながりの輪を広げます。

地域で

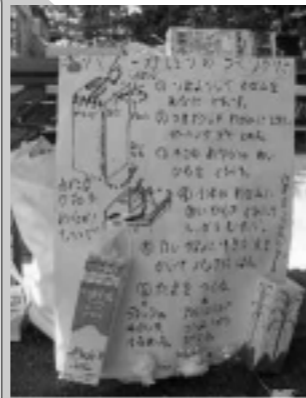
地域の子どもたちを集めた夏祭り

夏祭りは、地域恒例の行事になりました。もともと、お祭りのない新興住宅地でしたが、子どもたちにふるさとのお祭りをつくってやりたいと考えて始めました。子どもたちが、安心して集まって遊べる場所にもしたいので、ふだんから地域で協力して、見回り活動もしています。今では、子どもたちがこの公園に「へるる公園」として名前を付けて呼んでいるんですよ。

世話人会は、高齢者ばかりの集まりですが、みんな、子どもたちが大好きで、喜ぶ顔を見たいんです。今年は、工作や竹馬、手品など、みんなで特技をもち寄って、子どもたちと一緒に楽しめる催しを計画したんですよ。



夏祭り世話人会の会長さん



工作コーナー

竹馬コーナー



おじいちゃんたちは、やさしく教えてくれるよ。うまく乗れるようになりたいな。



夜は当てるのやスーパールすくいはあるよ。



うま〜できるかな。遠くまで飛ばしたいな。



地域の人々で、公園に花を育てる活動もしています。チョウチョウがたくさん飛び回って、子どもたちが喜び、散歩にくる高齢者のみなさんの目を楽しませたいと考えて始めました。

近くの子どもたちも、水やりなどをよく手伝ってくださいますよ。



○地域の人たちや生活、文化、伝統などに親しみ大切にするを通して、郷土を愛する心を育てます。

学校で

道徳の時間

主題名 わたしたちのまち (低4-(4))

ねらい

郷土の人々や生活、文化などに親しみ、郷土を愛する心情を育てる。

学習展開

○資料をもとに話し合い、自分のまちのことを重ねて考えながら、親しみをもつ。
○地域の祭りなど、これまで体験してきたことや生活科の学習などを振り返り、さらに親しみの気持ちを深める。



夏祭りは、楽しかったなあ。おじいちゃんたち、ありがとう。今度はお手伝いをして、もっと楽しいお祭りになりたいな。

ゲームもいいけど、ぐるぐる公園って大好き。みんなで遊ぶと楽しいもん。



低学年の書き込みの例

「こころのノート」低学年 P74~P77

